

第4次尾瀬総合学術調査団調査成果総括報告会プログラム

第4次尾瀬総合学術調査団

1. 日時

令和元年12月1日(日)9時00分～16時00分

2. 場所

都道府県センター、4F 402会議室(144名定員)

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-6-3(東京メトロ永田町5番出口に直結; 電話 03-5212-9162)

3. 次第

(1) 開会挨拶 第4次尾瀬総合学術調査団長 坂本 充

(2) 基礎研究部会調査成果報告 (9:05-11:45)

調査概要「尾瀬総合学術調査基礎研究部会調査概要」 基礎研究部会長 鈴木邦雄(横浜国立大学名誉教授)

報告2-1.「尾瀬産植物目録作成と分類学的新知見」 大森威宏(群馬県立自然史博物館)

報告2-2.「尾瀬のコウモリ類」 安井さち子(奥日光森林棲コウモリ研究グループ)

報告2-3.「尾瀬ヶ原湿原における過去65年間の植生調査成果」 鈴木伸一(東京農業大学地域環境科学部)

報告2-4.「尾瀬地域における衛星リモートセンシングによる植生モニタリング」
原慶太郎(東京情報大学総合情報学部)

報告2-5.「尾瀬ヶ原湿原における窒素動態特性とニホンジカの湿原攪乱影響」 犬伏和之(千葉大学園芸学部)

報告2-6.「尾瀬地域におけるニホンジカによる植生影響と植物群落の脆弱性評価」
星野義延(東京農工大学農学部)

報告2-7.「尾瀬国立公園利用者の環境保全基金設立への賛否と期待する用途」
山本清龍(東京大学農学生命科学研究科)

報告2-8.「尾瀬のバーチャルミュージアム(暫定版)」 浅川順(東京情報大学総合情報学部)

討論2-9.「基礎研究部会調査成果総合討論」 司会; 基礎研究部会長 鈴木邦雄

(3) 重点研究部会調査成果報告 (12:45-15:25)

調査概要「尾瀬総合学術調査重点研究部会調査概要」 重点研究部会長 岩熊敏夫
(北海道大学・函館工業高等専門学校名誉教授)

報告3-1.「尾瀬ヶ原における地質構造と水文環境からみる池塘への洪水影響」 野原精一(国立環境研究所)

報告3-2.「尾瀬ヶ原池塘への洪水影響ー底質灰分量、岸動物、池塘拡大」 福原晴夫(河北潟湖沼研究所)

報告3-3.「尾瀬ヶ原池塘における水生植物の分布と環境要因」 永坂正夫(金沢星稜大学人間科学部)

報告3-4.「尾瀬ヶ原の池塘における腐植物質動態と洪水がそれに与える影響」 千賀有希子(東邦大学理学部)

報告3-5.「尾瀬ヶ原の動物プランクトン相と洪水影響について」 帆苅信(新潟県立生涯学習推進センター)

報告3-6.「尾瀬ヶ原の植生分布を規定するミネラル栄養性ーミネラル供給源としての土粒子の重要性ー」
村上大樹・楊宗興(東京農工大学農学部)

報告3-7.「合成開口レーダーによる尾瀬ヶ原の長期観測とドローンによる現地観測」
久田泰広(会津大学情報システム学部門)

報告3-8.「尾瀬生態系における洪水影響および今後の温暖化影響・環境変動のモニタリングに向けて」
岩熊敏夫(北海道大学・函館工業高等専門学校名誉教授)

討論3-9.「重点研究部会調査成果総合討論」 司会; 重点研究部会長 岩熊敏夫

(4) 総括・総合討論 (15:25-15:57)

4-1. 総括: 第4次尾瀬総合学術調査成果と今後に残された課題 第4次尾瀬総合学術調査団長 坂本充

4-2. 総合討論: フロアーからのコメントと総合討論

(5) 閉会挨拶

第4次尾瀬総合学術調査団事務局 増田一郎(公益財団法人尾瀬保護財団事務局長)